

我武者羅

緑丘中学校 野球部通信
2018年 5月 7日(月)
No.6

◎ベースボールフェスタの結果 (5/3・4)

5月3日①	1	2	3	4	5	6	7	計
七尾	0	0	0	0	0	0	0	0
緑丘	1	0	0	1	0	0	×	2

(緑) 山田(7回)ー林 (七) 山口ー森田
(安打) 濱塚, 権左

5月3日②	1	2	3	4	5	6	7	計
山室	0	0	0	0	0	0	0	0
緑丘	0	0	1	0	1	1	×	3

(緑) 柳谷(6回)、濱塚ー林 (山) 宮崎ー大井
(三塁打) 権左 (二塁打) 権左 (安打) 山田, 林2, 柳谷

5月4日①	1	2	3	4	5	6	7	計
森本	0	0	0	0	0	0	0	0
緑丘	0	0	1	0	0	0	×	1

(緑) 山田(7回)ー林 (森) 森, 堀井ー玉村
(安打) 権左, 儀谷

5月4日②	1	2	3	4	5	6	7	計
中能登	0	0	0	0	0	0	0	0
緑丘	0	0	0	0	0	0	△	0

(緑) 柳谷(7回)ー林 (中) 岡野ー山辺
(安打) 山田, 濱塚, 林2, 柳谷

※雨天により7回表で中止

◎今週末の予定(5月12日[土])

開会式 8:30～ ※選手宣誓(緑丘中学校主将 権左真慧)
[一塁側] [三塁側]
第1試合(決勝戦) 9:00～ 緑丘 VS 三崎
※試合終了後、すぐに閉会式を行います。
第2試合(練習試合) 10:50～ 宝立 VS 三崎(緑丘)
第3試合(練習試合) 13:30～ 宝立(緑丘) VS 緑丘

※第2、第3試合は、宝立小中学校に緑丘中学校から2名参加することとなります。
※今大会で優勝すると、5月20日(土)、21日(日)に開催される
「第64回全能登中学校野球輪島大会」に出場することができます。

◎ベースボールフェスタを終えて

保護者の皆様へ

5月3日、4日の2日間、中能登中学校との2年生試合は大変残念ではありましたが、何とか4試合を行うことができました。たくさんの保護者の方々に応援に来ていただき、ありがとうございました。また、自チームの選手だけでなく、参加校の相手選手たちにも温かい味噌汁を振る舞う保護者の方々の姿から、自分も選手たちも「相手を思いやる心」を学ばせていただきました。自分も選手たちと共に、対戦したチームに珠洲に来て良かったと思ってもらえるようなチームにしたいと改めて思いました。2日間、風が強く気温も低い中、温かいお心遣いありがとうございました。

選手たちへ

この2日間は、全試合とても少ない安打数ではありましたが、出塁から盗塁してからの1本が目立ちました。出塁こそあまりなかったが、少ないチャンスを得点につなげることができたことは大きな収穫だと思います。ここぞという場面での、集中力がついてきているように感じました。勝ち進めば勝ち進むほど、投手はよくなり安打数は少なくなります。その中でいかにして、少ないチャンスを実際に得点につなげるかが、大切になってきますね。また、4試合を通して失点が0であったことも、大きな収穫であると思います。ピンチである場面で、投手がしっかり踏ん張れたことや、野手がしっかりと集中して守れたことは、良い経験となりました。今後も、成果と課題を明確にして、1試合1試合振り返りと改善を繰り返していきましょう。

『走塁』

この4試合は、特に走塁を重点的に取り組みました。走塁は、挑戦しないと一生うまくならないと考えています。結果を恐れていると、何も始まりません。行けるかどうか迷ってしまって、次の塁に行けない選手は、次の塁を狙う挑戦をしたことがない選手だと思います。これは、リードについても同じことです。どこまでが自分のリードなのか、リード幅を大きくする挑戦をしない選手はいつまで経っても自分のリードがわからないままです。アウトになって初めて自分のリードの幅がわかってくるものだと思います。具体的な例を挙げると、きりが無いのですが、特に走塁には挑戦と経験が必要だと考えます。夏の大会のここぞという場面、次の塁を狙えるかどうかは、この経験がすべてであると思います。どれだけ挑戦し、どれだけ経験を積めるかが、今後の大きな課題となってきます。しかし、残りの試合数は限られています。試合だけで経験を積もうとしている選手は完全な経験不足です。普段の練習が、自分の走塁を知る1番チャンスだと考えるべきだと思います。いかに課題意識を持って1つ1つの練習に取り組めるか、これが重要になってきます。

『やらないこととできないこと』

走塁において自分が1番大切だと思うことは、全力で走ることです。グラウンドでちんたら歩いている選手や、凡打の後にアウトと決めつけて全力で走らない選手は、走塁が上手い下手以前のレベルです。これは、誰でもできることです。自分が言いたいことは、誰よりも速く走れと言っているわけではありません。自分の中で、全力の力で走れということです。「できないこと」と「やらないこと」の区別はしっかりしないとイケません。やらなかった人は、都合の良いように言い訳をして、それをできなかったことにします。言い訳をする人は、「やらない」を「できない」に変えてしまうのです。「やらないこと」はやるうとする以外に改善策はありません。なので、チームとして徹底すべきことは、できることをやることであり、「当たり前」の「こと」を、「当たり前」にやることだと、自分は考えます。「凡事徹底」「凡事一流」です。野球はとても複雑であり、難しいスポーツです。だからこそ、やるべきことはシンプルに考えるべきだと思います。試合に出ている、出していないに関わらず、やるべきことやできることはたくさんあります。それをどれだけ徹底できるかが今後のチームの大きな課題だと、自分は考えます。